

竟州四十五

記錄寮 明治辛未九月  
同主申上月至元

簿記課

編輯課

書籍課

刊行課

翻譯課

造幣寮事務掛

第一類	二類	三類	四類
二七七册	十八架	一四兩	

大藏省考課狀

單

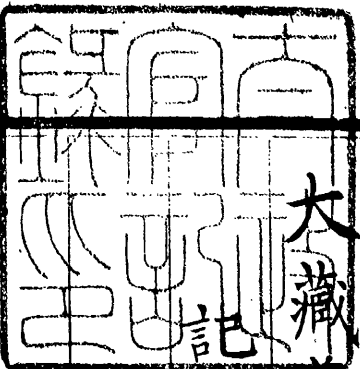
大藏省

2 A

35-1

記 1157

H449



大藏省考課狀

錄察

目次

辛未  
五申  
台冊

簿記課之事

編輯課之事

書籍掛之事

刊行課之事

翻譯課之事

造幣寮事務掛之事

附錄

第一號

簿記課

例言

紙幣寮へ出張ノ件

金穀ニ關係スル回議原書寫配達表

金穀出納ニ關スル回議原書編製簿

納金穀月計惣合表

第二號

編輯課

例言

編輯ノ部

謄寫ノ部

取調中ノ部

第三號

書籍掛

例言

洋籍部類

第四號

刊行課

例言

刊行書目

刊行物新舊上梓摺立刊行入費表

第五號

翻譯課

例言

東洋銀行ノ部

ワルスホール商會ノ部

シヤルジンマゼソン商會ノ部

紙幣ノ部

乘港岡士館ノ部

加利福尼銀行ノ部

藩債ノ部

諸雜件ノ部

吉田少輔公債募リ方一條ノ部

第六號

造幣寮掛

例言

往復ノ部

建議ノ部

記録寮考課状第一號

自明治四年辛未九月  
至同五年壬申十一月

謹テ當寮ノ課ヲ考シ状ヲ具シテ以テ之ヲ  
 閣下ニ上呈ス抑辛未八月官制等級御改定  
 ノ際新ニ記録寮ヲ置カレ兵頭正懿之カ權  
 頭ニ任セラレ臣亦助ノ任ヲ拜命セリ其後  
 同年十一月廿七日兵頭正懿ハ秋田縣權參  
 事ニ轉任シ十二月八日臣記録頭ニ拜セラ  
 レ兵頭正懿ニ代リ閣下ヨリ拜受シタル職

制并事務章程ニ照準率由シテ寮中諸官負  
ノ處務ヲ指令幹理シ諸般ノ事件ヲ修整擔  
保シ又寮中管スル所ノ事務ヲ四課ニ分チ  
大屬以下ヲ撰薦シテ各其能スル所ノ事務  
ヲ授ケ以テ其職ヲ盡サシム就中日冬減負  
ノ御趣意ヲ遵奉シテ寮中官負八人ヲ免職  
シ爾來三十名ヲ以テ定負トス然リト雖  
比日ヲ逐ヒ月ヲ閱スルニ從ヒ各寮ノ事務  
蠲集スルニ至リ編輯課ノ如キハ其事務極  
テ多端ナリ今爰ニ寮中處務ノ要領及ヒ各

課ノ行情ヲ具狀スル左ノ如シ

簿記課之事

此課ハ凡テ金穀出納ノ傳票ヲ謄寫シ以テ  
日々月々ノ計筭ヲ為シ其傳票ニ副タル上  
局許可ノ原書ハ當寮ニ藏シテ後證ニ備フ  
初メ當課ヲ置クヤ上局許可ノ原書其主任  
ノ寮ニ歸セサルカ為メニ各寮ニ於テ苦情  
アリ之ヲ當寮ニ納ルヲ廢セントスル者多  
シ因テ上局集議ヲ為シ遂ニ原書ハ當寮ニ

納メ其都度當寮ニ於テ正寫ヲ制シ之ニ寮  
 印ヲ捺シ其正寫タルヲ證シテ以テ之ヲ主  
 任ニ付與スルルニ決シタリ雖然事新ニ出  
 テ一日寫字ノ數豫メ之ヲ認メ難ク一日ハ  
 多數一日ハ空手ノ事アリテ之ニ充ル人負  
 モ定メ難ク其間各寮ノ苦情アリシカ方今  
 ニ至テハ自他各其事ニ慣習スルニ因テ更  
 ニ苦情ヲ受ルルナシ  
 又金穀出納ノ計算ニ於ルモ新ニ手續ノ變  
 更スルカ為ニ人々其事ニ熟慣セサルノ

ナラス出納寮ヨリ元金有高ノ報告ナキカ  
 故ニ日々計算ヲナスト雖モ當寮ニ於テハ  
 其歲出入ヲ明カニスル能ハス之カ為ニ昨  
 十一月迄ノ計算ハ殆無用ノ手續ニ屬セリ  
 而ノ當春ニ至テ始テ章程成規ノ如ク其事  
 ヲ行フニ及ヘリ  
 壬申三月中新紙幣押印ノ命アリ因テ取敢  
 ヘス此課ノ人負ヲ撰テ紙幣寮へ出張セシ  
 ム初メ此課ハ四人ヲ以テ定員トナセシカ  
 前文ノ如ク寫字并此押印ノ事務増殖セシ

カ為ニ方今ニ至テ八九人トシテ其三人ヲ  
シテ紙幣寮ニ押印ノ事ニ從ハシム

編輯課之事

此課ハ元度量衡改正掛ニ僅兩三名ヲ置キ  
太政官日誌ノ編輯ニ從事シタリシニ辛未  
八月御改正ニ因當寮ノ一課ニ屬セシヨリ  
凡一般ノ公布命令及谷地方へ指令セシ措  
置ノ定規并總テ將來例格備考ト為ルヘキ  
書類原議并條約類ヲ管守シ之ヲ類別蒐輯

スルヲ掌ルニ至レリ

此課タルヤ蓋シ經國ノ基本歷世政治ノ成  
規ヲ詳ニシ用度ヲ簡便ニスル龜鑑ニ備フ  
ルモノニシテ其責タルヤ最重シ然リト雖  
凡他ノ事務ト轍ヲ異ニシ只人才ヲ得ルヲ  
以テ事務ノ舉ルニ非ス蓋シ人負ノ多寡ニ  
因テ其功ヲ奏スルノ遲速アルノミ  
壬申四月縣務備考ヲ編纂スヘキノ命アリ  
因テ當課ノ人負數名ヲ撰舉シ斯ニ從事セ  
シメ六月ニ至テ成功セリ



同年四月十三日日本省七等出仕三守完十ル  
モノ記録編輯ノ事務ヲ專任スヘキノ命ヲ  
奉シテ當寮ニ出頭シ此課ニ擔任セリ爾來  
此課ノ事務大ニ進歩セリ

### 書籍掛之事

壬申九月命アリ曰ク省中一般ノ洋書及和  
漢ノ書籍ヲ悉ク當寮ニ蒐集シテ之ヲ省護  
スヘシト因テ此編輯課ヨリ二人翻譯課ヨ  
リ一人ヲ撰舉シ之ヲ擔當セシム乃チ各寮

ノ書籍ヲ受取り各其部類ヲ分チ之ニ番號  
ヲ附シ總目錄二本洋和文ヲ制シ出入ヲ明カ  
ニス於是當寮ハ即チ省中ノ書庫トナリ初  
テ重複書籍ヲ購求スルノ冗費ヲ除クニ至  
リ殊ニ一目省中書籍ノ負數有無ヲ辨シ其  
便益亦知ルヘキノミ加之各寮局必需ノ書  
籍ハ皆當寮ノ手ヲ經テ購求スルヤ其數日  
日増シ月々加リ殆汗牛充棟ニ至ル因テ新  
ニ書庫ヲ建築セン<sub>一</sub>ヲ請ヒシニ許可アリ  
テ當今經營中ナリ其落成ニ及テハ又一層

ノ便ヲ為スヘシ  
右既ニ編輯全備セシ簿冊ノ部類及ヒ書籍  
ノ部數等ハ當課官負ノ報告アリ即チ附録  
トナス

刊行課之事

此課ハ事務章程中本省ノ一局ヲ為スヘキ  
課ニシテ辛未八月中別段ニ當寮ヘ委任ア  
リテ此課ヲ設ク抑當課ノ事務タルヤ本省  
ヨリ出ル諸法令規則及ヒ一般ノ頒分ヲ要

スル公文書籍ヲ上梓發兌スルヲ掌ル所ニ  
シテ其刊行ニ關ルモノハ悉ク之ヲ集メ各  
寮局ノ需用ニ供ヘ以テ其出納ヲ明カニス  
且寮中ノ用度及ヒ諸務ヲシテ此課ノ職掌  
トナサシム

壬申正月下旬紙幣寮ニ於テ公債證書ノ圖  
面ヲ制スルヤ當課ニアル石井重賢ナルモ  
ノ圖画ニ巧ミナルヲ以テ同寮ヨリノ望ニ  
應シテ出張セシメ尚其證書ノ書入レヲ要  
スル為メ同ク當課ニアル青隣方敬ヲ出張



セシム其間此課ノ事務頗多端ヲ極メ夕リ  
シカ當春ニ至リ兩人共其事竣テ復課セリ

### 翻譯課之事

此課ハ即チ省中必需ノ洋書及ヒ外國往復  
ノ文書等ヲ翻譯又ハ記錄スルヲ掌ル所ナ  
リ初メ此課ニ從事スルモノ甚少ナク事務  
亦多端ニテ其後漸四人ヲ置クト雖モ一人  
ハ造幣寮事務ヲ專任シ一人ハ書籍掛ヲ兼  
務スルカ故ニ猶時トシテハ事務ノ繁劇ニ

涉ル一之アリ併十カラ方今ニ至テハ谷寮  
ニ於テ自ラ翻譯ニ從事スヘキ官員ヲ置キ  
又此課ニアルモノモ漸事務ニ慣習セルヲ  
以テ頗其宜ヲ得ルニ至ル

### 造幣寮事務掛之事

本省ノ命ニ因テ造幣寮往復ノ書類ヲ當寮  
ニ於テ取纏方ヲ為シ夕リ然リト雖モ造幣  
寮ハ當地ニ出張所ナク又本省中同寮ノ事  
務ヲ專ラ取扱フ所ナク或ハ諸務或ハ出納

大蔵省  
大蔵省

或ハ檢査及ヒ當寮ニ於テ區々ニ取扱フカ  
故ニ書類モ自ラ散乱シ頗ル困迫ス又同寮  
定額金ハ出納寮ニテ仕出シ臨時御入用金  
ハ其仕出ス所ヲ知ラス之カ為メニ其廻金  
自ラ遲延セシヨリ同寮ニ於テ數回苦情ヲ  
訴フ於是昨年十月造幣寮定額金ハ勿論其  
他臨時請取者及ヒ事務往復悉ク當寮ニ於  
テ擔當スヘキ旨ヲ命セラレ其以來當寮ニ  
テ專ラ同寮ノ事務ヲ取扱フ事ニ至レリ因  
テ此翻譯課中島邨泰ヲシテ之ヲ專任セシ

ム爾來幸ニシテ苦情アル一無シ  
以上四課兩幣書寮籍掛リノ處務ヲ指令幹理シ  
テ辛未九月ヨリ壬申十二月迄ノ間諸般ノ  
事件ヲ修整擔保シタル事實ニシテ各課ニ  
於テ取調タル考課ノ書類ヲ附録ニ出シテ  
以テ閱覽ニ供ス伏テ願フニ當記錄寮ハ辛  
未秋新置ノ際官負ノ其事務ニ熟スルモノ  
乏ク頗ル煩雜ヲ極メ之カ為ニ隔靴ノ歎亦  
尠カラサリシカ方今事務ノ多端之ヲ當時  
ニ比スレハ一層倍蓰スト雖凡皆能ク之カ

順序ヲナシ復束手ノ憂ナキハ聊カ寮中官  
負ノ熟練ト勉勵トヲ徵スルニ足ランカ敢  
テ諒察ヲ請フ誠恐誠惶頓首頓首謹言

明治六年一月 記録頭立嘉度

大藏大輔井上馨殿

附録

第一號

簿記課考課狀第一號

自明治四年辛未九月  
至同五年壬申十一月

簿記課ノ職務タル凡一般ノ歳入歳費金穀  
出納ノ諸計算ニ關涉スル書類又ハ證據書  
等ノ原本紙ハ附添スル傳票上ハ卿輔證印  
濟本省傳票課ヨリ本寮ハ達セシ時當課之  
ヲ受ケ得ト推算シテ逐類簿冊ハ登録シ其

